

■一般目標 (GIO)

歯科技工士としての基盤を形成するとともに、歯科医療技術者としての自覚と人格形成のための知識と技術を学ぶ。また、臨床の需要に応えられるだけの技術の研鑽と探究、歯科医師からの高度な指示、情報提供に対する理解力および新技術の知識を身につける。

■到達目標 (SBOs)

- ・歯科技工の品質管理を説明できる。
- ・歯科技工所の経営を説明できる。
- ・補綴装置の種類と特徴を説明できる。
- ・歯科技工指示書の記載項目を列挙できる。
- ・生体補綴と顎顔面補綴における歯科技工を説明できる。
- ・エックス線写真から得られる情報が理解できる。

■教科書：(教1)最新歯科技工士教本 歯科技工管理学 (医歯薬出版)

(教2)最新歯科技工士教本 歯科技工実習 (医歯薬出版)

■参考資料：プリント配付

■授業時間：水曜日 18:50～19:35

■オフィスアワー：今井 秀行 (imai.hideyuki@nihon-u.ac.jp) 水曜日・17:00～17:45

■成績評価：定期試験 (90%)、平常試験 (10%) で評価する。

■注意事項：講義時間に教科書と配付プリントを持参すること。

■授業方法：講義形式

■準備学習：事前に講義内容を教科書で確認しておくこと。

■準備学習時間：予習と復習それぞれに講義時間と同等の時間を充てること。

■実務経験：今井 秀行：歯科技工士としての臨床経験をもとに、本教科で学ぶ内容や理論、手技を補綴装置の製作にどう生かすかを、歯科技工士の立場からわかりやすく丁寧に教えていく。

■関連教科：基礎歯科技工学 (1年)

■アクティブラーニング：グループワーク、ディスカッション

■予定表：

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回 4月9日 今井 秀行	1. 歯科医療機関の役割 2. 歯科技工関係団体 (教1) p. 11-22 3. 歯科治療における社会保険診療報酬 (教1) p. 30	・歯科技工関係団体の役割が理解できる。 ・歯科診療における社会保険診療報酬が説明できる。 ・歯科医療機関の役割を説明できる。 ・歯科技工学について説明できる。
第2回 4月16日 今井 秀行	4. 歯科技工士国家試験 (1) (教1) pp. 155-160	・歯科技工士国家試験の意義と目的を説明できる。
第3回 4月23日 今井 秀行	5. 歯科技工士国家試験 (2) (教1) pp. 155-160	・歯科技工士国家試験の意義と目的を説明できる。
第4回 4月30日 伊藤 裕也	6. 歯科技工所の経営 (教1) pp. 77	・歯科技工所の経営を説明できる
第5回 5月7日 伊藤 裕也	7. 歯科技工の品質管理・品質保証 (教1) pp. 77-80	・歯科臨床における新しい加工技術が理解できる。 ・現在の歯科技工とこれからの歯科技工士の役割について理解できる。

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第6回 5月14日 今井 秀行	8. 歯科臨床と歯科技工士 (教1) pp. 53-68	・補綴装置の種類と特徴を説明できる。 ・歯科技工士としての心構えを理解する。 ・就職活動について理解を深める。
第7回 5月21日 今井 秀行	9. 歯科技工指示書の見方 (教2) pp. 51-56	・歯科技工指示書の記載項目を列挙できる。
第8回 5月28日 間中 道郎	10. 歯科臨床と歯科技工士 (教1) pp. 53-68	・歯科臨床と歯科技工士について説明できる。 ・現在の歯科技工とこれからの歯科技工士の役割について理解できる。
第9回 6月4日 大山 哲生	11. 顎顔面補綴における歯科技工(上顎) 1) 栓塞子(obturator) 2) 外科的即時栓塞子(immediate surgical obturator) 3) スピーチエイド(speech aid) 4) その他装置 (教2) pp. 176-181	・口腔外科疾患の治療後に適用する装置の特徴を説明できる。 ・顎義歯、スピーチエイドの製作方法および使用目的が説明できる。
第10回 6月11日 大山 哲生	12. 顎顔面補綴における歯科技工(下顎) 1) 舌接触補助床(palatal augmentation prosthesis) 2) その他装置 13. 生体補綴における歯科技工 (教2) pp. 166-169 pp. 196-206	・摂食機能療法に用いられる補綴装置について説明できる。 ・生体補綴における歯科技工士の役割を理解する。
第11回 6月18日 中村 悠介	14. 歯科技工業務の運営 (教1) p. 77	・歯科技工業務の運営が理解できる。 ・歯科診療における歯科技工の役割を説明できる。
第12回 6月25日 今井 秀行	15. 印象、模型、補綴装置などの消毒 16. エックス線から得られる情報 (教2) pp. 58, 59 (教2) pp. 43-50	・印象体、模型および補綴装置の消毒方法が説明できる。
第13回 7月2日 中村 悠介	17. 歯科技工の現状 (教1) p. 26	・歯科診療における歯科技工の役割を説明できる。 ・歯科臨床における新しい加工技術が理解できる。 ・現在の歯科技工とこれからの歯科技工士の役割について理解できる。
第14回 7月9日 今井 秀行	18. 歯科臨床と歯科技工士 (教1) pp. 53-68	・補綴装置の種類と特徴を説明できる。 ・歯科技工士としての心構えを理解する。 ・就職活動について理解を深める。
第15回 7月16日 今井 秀行	前期のまとめ 「平常試験」, 解説	・前期の講義内容を総覧し、基礎科学について理解を深める。